

「お気に入りの祭り」 についての探究プロジェクト ～プロセス・ライティングを中核とした単元構想～

高校 1年「英語コミュニケーションⅠ」
Lesson 8“The World’s Winter Festivals”
資料の活用

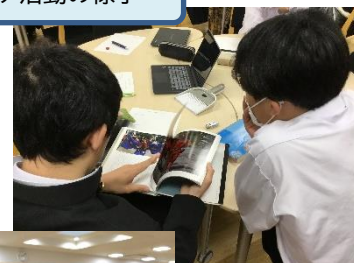
ねらい

- 自分のお気に入りの「祭り」について、英語でライティングをし、ALT に紹介する。
- 1st Draft から Final Draft にかけて、2回のフィードバックを活用してライティングの構成、内容の向上を図る。

学 習 展 開

- ① 紹介したい祭りについて図書館でリサーチ。県立図書館からも祭りについての関連図書を取り寄せ、情報収集に活用。情報収集をもとに、リサーチペーパーに必要な情報を記入する。
- ② リサーチした情報をもとにアウトライン作成
- ③ アウトラインのピアチェック
- ④ アウトラインをもとに 1st Draft 作成。フィードバックはクラス全体に共通するポイントのみ共有。
- ⑤ フィードバックをもとに、2nd Draft 作成。
- ⑥ フィードバックをもとに、Final Draft を作成
- ⑦ Final Draft を ALT に読んでもらい、コメントをもらう。

リサーチ活動の様子



取寄せた資料を
館内に展示し、授
業時間外も閲覧
できるようにした



◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は教科担当教員と相談し、内容や必要な資料について打ち合わせを行う。
- 学校司書は、テーマに関連した資料を準備・展示・提供する。
- 学校司書は、教科担当教員と連携して、生徒の本の検索や調べる活動を支援する。

★指導のポイント

- ◆ 自分が経験した祭り、あるいは、これから経験したい祭りについて英語で紹介させる。情景が浮かぶ描写文が書けるように指導する。
- ◆ 紹介する相手を設定することで生徒の動機づけを高める。
- ◆ フィードバックを生かしてライティング力を向上させる。

資料

『鳥取県の祭り・行事』（鳥取県立博物館、2006）『都道府県別日本の祭り・行事調査報告書集成 9』（海路書院、2009）など、インターネットで詳しい情報を集めにくい鳥取県関連の資料を中心に、『日本の祭り大図鑑』シリーズ（ミネルヴァ書房、2014～）など、日本と世界の祭りに関する資料を準備・提供。